令和7年度入学生用

2年次（令和8年度開講）

留学生特別科目

【教 育 課 程】

令和7年度入学生　教 育 課 程

別表　第5　留学生特別科目教育課程表
（○印は一般教養科目と重なる）

ページ番号	授業科目	授業形態	履修方法 履修単位数 必修	履修方法 履修単位数 選択	開講学期単位数 1前	1後	2前	2後	備考
	外国人留学生特別科目	**＊日本語を第一言語（母語）とする学生は、下記の科目を受講することはできない。**							
	○ 日本語演習Ⅰ	演　習	2		2				日本語演習Ⅰ～Ⅱの修得単位は外国語演習の単位に代えることができる。
	○ 日本語演習Ⅱ	演　習	2			2			
3	日本語演習Ⅲ	演　習	2				2		＊但し、教員免許の取得を希望する場合は、日本語演習以外の言語を選択し、Ⅰ・Ⅱを連続で履修する必要がある。
5	日本語演習Ⅳ	演　習	2					2	
	日本事情Ⅰ	演　習		1	1				但し、科目の修得単位は一般教養科目の単位に代えることができる。 ＊履修方法については各学科毎に定める
	日本事情Ⅱ	演　習		1		1			
7	日本事情Ⅲ	演　習		1			1		
9	日本事情Ⅳ	演　習		1				1	
	最低修得単位数		8	4					

別表　第6　認定絵本士養成科目

ページ番号	授業科目	授業形態	履修方法 履修単位数 必修	履修方法 履修単位数 選択	開講学期単位数 1前	1後	2前	2後	備考
	認定絵本士養成講座A（知性を深める）	講義及び演習	1		1				13科目（21.5h）
	認定絵本士養成講座B（絵本の技能を高める）	講義及び演習	1		1				8科目（14.5h）
	認定絵本士養成講座C（感性を磨く）	講義及び演習	1		1				9科目（14.5h）
	最低修得単位数		3						計　30科目（50.5h）

科目名	日本語演習III	**科目ナンバー**	**AR023017**
担当者	担当者未定		
科目	—		
施工規則に定める科目区分または事項等	—		
授業形式	演習		
配当年次		**科目群**	留学生特別科目
開講期	前期	**卒業の選択・必修**	選択必修
単位数	2	**担当形態**	単独
免許・資格情報	—		

授業の概要	この授業では、JLPT N1 (CEFR C1〜C2)レベルの言葉や表現を勉強し、会話や作文で、それらを正確に使えるようになるための練習をします。模擬試験にも挑戦します。また、様々な場面でのシャドーイングによる会話練習や、ニュース記事、小説、歌、映画などを通して、日本の文化や時事問題についても学び、仲間や教員と意見交換をしたり、小論文を書いたりします。
授業の到達目標	1. N1レベルの日本語の漢字や語彙、表現を覚え、実際の場面でそれらを正しく、効果的に使うことができる　2. かなり速いスピードで話されても、内容をほとんど聞き取ることができる　3. 日本の文化や時事問題について、その背景や要因、解決策等を考え出せる

ディプロマポリシー (DP)	1 主体的に学び、多様な考え方に触れ、柔軟な思考ができる。	2 自己を高めるとともに、他者との関わりを良好に保つことができる。	3 地域への関心を深め、地域活性化の担い手として課題解決に意欲的に取り組む。	4 社会や文化に対して関心を持ち、広い視野に立って、社会に参画する力を持つ。
DPとの関連	○	○		◎

※関連するＤＰ番号に○（複数可）、最も関連部会ＤＰ番号は◎（1か所のみ）

授業計画		**担当者**
第1回	今年度の抱負を発表します	担当者未定
第2回	文法：時間的前後　／語彙と漢字1／会話・ディスカッション：ニュース	担当者未定
第3回	文法：程度・比較　／読解と聴解1／会話・ディスカッション：ジェスチャー	担当者未定
第4回	文法：原因・理由／語彙と漢字2／日本の歌を歌う	担当者未定
第5回	文法：可能・難易／読解と聴解2／会話・ディスカッション：ニュース	担当者未定
第6回	文法：目的／語彙と漢字3／会話・ディスカッション：ニュース	担当者未定
第7回	日本語能力試験　模擬テスト	担当者未定
第8回	日本語能力試験　模擬テスト解説	担当者未定
第9回	文法：逆説・譲歩／読解と聴解3／会話・ディスカッション：音楽	担当者未定
第10回	文法：条件／語彙と漢字4／会話・ディスカッション：ニュース	担当者未定
第11回	文法：逆説条件／慣用句／会話・ディスカッション：私の好きな本	担当者未定
第12回	文法：様子・状態／日本の文学作品を読む	担当者未定
第13回	文法：傾向／ことわざ／会話・ディスカッション：都市と地方	担当者未定
第14回	文法：禁止・義務・不必要／読解・聴解4／作文：都市と地方	担当者未定
第15回	日本の映画を見て「日本文化」について考えます	担当者未定

授業に含まれる活動	ディスカッション・討論	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習（実験・実技）・フィールドワーク	その他の活動※ＩＣＴ教育等を含む
	○	○			

担当教員の実務経験と授業の関連			
事前学習	勉強した言葉や表現を、他の授業でたくさん使ってください	学習合計時間(h)	30
事後学習	勉強した表現を、実際の場面でたくさん使ってください。アルバイトなど、学校の時間じゃないときにも、よく復習してください	学習合計時間(h)	30
課題に対するフィードバックの方法	復習テストなどで確認します		
質問・相談方法	何かあれば、授業中や授業の前後に相談・質問してください		
オフィスアワー			

テキスト	特になし（プリントを配ります）
参考文献等	『改訂版　どんなときどう使う　日本語表現文型500』　友松悦子ほか 株式会社アルク 2013年 2500円　(ISBN：978-4757418905),『新・シャドーイング　日本語を話そう！　中～上級編　[英語・中国語・韓国語訳版]』斎藤仁志ほか くろしお出版 2022年 1800円（ISBN: 978-4-87424-
成績評価基準	授業に対する積極性や、勉強した文型や語いが使えるようになったかどうかを評価の基準にします
成績評価の方法	授業態度（20%）、　中間テスト（40%）、　課題レポート（40%）
ＧＰＡ基準	
備考	受講対象者　留学生のみ

科目名	日本語演習Ⅳ	**科目ナンバー**	**AR024021**
担当者	担当者未定		
科目	―		
施工規則に定める科目区分または事項等	―		
授業形式	演習		
配当年次		**科目群**	留学生特別科目
開講期	後期	**卒業の選択・必修**	選択必修
単位数	2	**担当形態**	単独
免許・資格情報	―		

授業の概要	この授業では、JLPTN1(CEFR C1～C2)レベルの言葉や表現を勉強し、会話や作文で、それらを正確に使えるようになるための練習をします。また、短期大学を卒業した後、就職先でも上手くコミュニケーションが取れるように、ビジネスの場面で使われる言葉や表現を勉強し、会話やメール作成の練習を行います。その他、方言や新しい言葉など多様な日本語を学び、社会を多面的・多角的に捉えながら、様々なトピックで、仲間や教員と議論していきます。
授業の到達目標	1. N1レベルの日本語の漢字や語彙、表現を覚え、実際の場面で使いこなすことができる　2. 定型表現や敬語表現を適切に使用しながら、上司や同僚、客との会話やメールでのやり取りが、比較的スムーズにできる　3.自分の意見や経験談を、明瞭で滞りなく、詳しく、述べることができる

ディプロマポリシー(DP)	1 主体的に学び、多様な考え方に触れ、柔軟な思考ができる。	2 自己を高めるとともに、他者との関わりを良好に保つことができる。	3 地域への関心を深め、地域活性化の担い手として課題解決に意欲的に取り組む。	4 社会や文化に対して関心を持ち、広い視野に立って、社会に参画する力を持つ。
DPとの関連	○	○		◎

※関連するＤＰ番号に○（複数可）、最も関連部会ＤＰ番号は◎（1か所のみ）

授業計画		**担当者**
第1回	夏休みにしたことについて、発表します	担当者未定
第2回	文法：話題／語彙と漢字1／会話・ディスカッション：多文化共生	担当者未定
第3回	文法：起点・終点／読解と聴解1／会話・ディスカッション：多文化共生	担当者未定
第4回	文法：限定／語彙と漢字2／日本の歌を歌う	担当者未定
第5回	文法：非限定／読解と聴解2／新しい日本語の言葉と表現	担当者未定
第6回	文法：付加／語彙と漢字③／地域・社会方言	担当者未定
第7回	日本語能力試験　模擬テスト	担当者未定
第8回	日本語能力試験　模擬テスト解説	担当者未定
第9回	文法：付帯状態／俳句作り	担当者未定
第10回	文法：評価の視点／ビジネス日本語1 会話練習	担当者未定
第11回	文法：基準／ビジネス日本語2 会話練習	担当者未定
第12回	文法：無関係・除外／ビジネス日本語3 メール	担当者未定
第13回	文法：軽重の強調／ビジネス日本語4 メール	担当者未定
第14回	文法：強制／デジタルストーリーテリング制作	担当者未定
第15回	デジタルストーリーテリング鑑賞会／2年の学びの振り返り	担当者未定

授業に含まれる活動	ディスカッション・討論	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習（実験・実技）・フィールドワーク	その他の活動※ＩＣＴ教育等を含む
	○	○			

担当教員の実務経験と授業の関連			
事前学習	勉強した言葉や表現を、他の授業でたくさん使ってください	学習合計時間(h)	30
事後学習	勉強した表現を、実際の場面でたくさん使ってください。アルバイトなど、学校の時間じゃないときにも、よく復習してください	学習合計時間(h)	30
課題に対するフィードバックの方法	復習テストなどで確認します		
質問・相談方法	何かあれば、授業中や授業の前後に相談・質問してください		
オフィスアワー			

テキスト	特になし（プリントを配ります）
参考文献等	『改訂版　どんなときどう使う　日本語表現文型500』　友松悦子ほか 株式会社アルク 2013年 2500円 （ISBN：978-4757418905),『新・シャドーイング　日本語を話そう！　中～上級編　[英語・中国語・韓国語訳版]』斎藤仁志ほか くろしお出版 2022年 1800円（ISBN: 978-4-87424-
成績評価基準	授業に対する積極性や、勉強した文型や語いが使えるようになったかどうかを評価の基準にします
成績評価の方法	授業態度（20%）、　中間テスト（40%）、　課題レポート（40%）
ＧＰＡ基準	
備考	受講対象者　留学生のみ

科目名	日本事情III	**科目ナンバー**	**AR043016**
担当者	岩切　朋彦		
科目	―		
施工規則に定める科目区分または事項等	―		
授業形式	演習		
配当年次		**科目群**	留学生特別科目
開講期	前期	**卒業の選択・必修**	―
単位数	1	**担当形態**	単独
免許・資格情報	―		

授業の概要	本授業は留学生が日本の習慣と日本の文化を知り、日本社会を理解するための授業です。「日本事情III」では、主に日本の歴史、現代の政治経済および地理(地方の特色)について説明します。			
授業の到達目標	1．基本的な日本の歴史について理解できる2．現代日本の政治経済情勢を知ることができる3．日本の地域的な特色を知ることができる			
ディプロマポリシー(DP)	1 主体的に学び、多様な考え方に触れ、柔軟な思考ができる。	2 自己を高めるとともに、他者との関わりを良好に保つことができる。	3 地域への関心を深め、地域活性化の担い手として課題解決に意欲的に取り組む。	4 社会や文化に対して関心を持ち、広い視野に立って、社会に参画する力を持つ。
DPとの関連				○

※関連するＤＰ番号に○（複数可）、最も関連部会ＤＰ番号は◎（1か所のみ）

授業計画		**担当者**
第1回	授業について	岩切　朋彦
第2回	日本の歴史：戦後のあゆみ	岩切　朋彦
第3回	日本の政治制度と他国との違い	岩切　朋彦
第4回	日本経済	岩切　朋彦
第5回	日本の地理	岩切　朋彦
第6回	東日本の文化と社会	岩切　朋彦
第7回	西日本の文化と社会	岩切　朋彦
第8回	日本の産業	岩切　朋彦
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

授業に含まれる活動	ディスカッション・討論	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習（実験・実技）・フィールドワーク	その他の活動※ＩＣＴ教育等を含む
	○		○		

担当教員の実務経験と授業の関連	担当教員は台湾で日本語を教えていました。		
事前学習	日本のニュース・新聞を毎日見るようにしてください。	学習合計時間(h)	30
事後学習	分からない言葉や内容をインターネットなどで調べてください。	学習合計時間(h)	30
課題に対するフィードバックの方法	授業の後に感想を聞いて、理解できたかどうかを調べます		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応します		
オフィスアワー	月曜日(前期)　13：00～17：00　黒川研究室(西館307号室)		

テキスト	『留学生のための日本事情入門：1冊でわかる最新日本の総合的紹介. 改訂版』金津日出美, 桂島宣弘, アジアにおける日本研究ゼミナール著　文理閣 2017年　2000円(税抜き)　ISBN:9784892597916 [4892597910]
参考文献等	特になし
成績評価基準	1政治経済に対する理解度　2日本の地理・地域の特色に関する理解度　3受講態度
成績評価の方法	授業内課題(60%)　受講態度(40%)
ＧＰＡ基準	
備考	

科目名	日本事情Ⅳ	**科目ナンバー**	**AR044018**
担当者	岩切　朋彦		
科目	―		
施工規則に定める科目区分または事項等	―		
授業形式	演習		
配当年次		**科目群**	留学生特別科目
開講期	後期	**卒業の選択・必修**	―
単位数	1	**担当形態**	単独
免許・資格情報	―		

授業の概要	本授業は、留学生が日本の習慣と文化を知り、日本社会を理解するための授業です。「日本事Ⅳ」では、主に現代日本の社会問題について新聞やニュースを通じて説明します。			
授業の到達目標	1．日本で生活する上で必要な文化や慣習を知ることができる2．現代日本社会の問題点を理解できる3．外国人にとって重要な日本の法制度(労働や教育)について理解できる			
ディプロマポリシー(DP)	1 主体的に学び、多様な考え方に触れ、柔軟な思考ができる。	2 自己を高めるとともに、他者との関わりを良好に保つことができる。	3 地域への関心を深め、地域活性化の担い手として課題解決に意欲的に取り組む。	4 社会や文化に対して関心を持ち、広い視野に立って、社会に参画する力を持つ。
DPとの関連				○
※関連するＤＰ番号に○（複数可）、最も関連部会ＤＰ番号は◎（1か所のみ）				

授業計画		**担当者**
第1回	授業について	岩切　朋彦
第2回	現代の日本社会	岩切　朋彦
第3回	気候変動と災害	岩切　朋彦
第4回	少子高齢化	岩切　朋彦
第5回	労働問題	岩切　朋彦
第6回	教育問題	岩切　朋彦
第7回	食料自給率	岩切　朋彦
第8回	LGBT	岩切　朋彦
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

授業に含まれる活動	ディスカッション・討論	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習（実験・実技）・フィールドワーク	その他の活動※ＩＣＴ教育等を含む
	○		○		

担当教員の実務経験と授業の関連	担当教員は台湾で日本語を教えていました。		
事前学習	日本のニュース・新聞を毎日見るようにしてください。	学習合計時間(h)	30
事後学習	分からない言葉や内容をインターネットなどで調べてください。	学習合計時間(h)	30
課題に対するフィードバックの方法	授業の後に感想を書いて、理解できたかどうかを調べます		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応します		
オフィスアワー	木曜日(後期)　13：10～14：40　　黒川研究室(西館307号室)		

テキスト	『留学生のための日本事情入門：1冊でわかる最新日本の総合的紹介. 改訂版』金津日出美, 桂島宣弘, アジアにおける日本研究ゼミナール著　文理閣 2017年　2000円(税抜き)　ISBN:9784892597916 [4892597910]
参考文献等	特になし
成績評価基準	1日本の社会問題に対する理解度　2日本と母国の違いについて考えることができる　3受講態度
成績評価の方法	授業内課題(60%)　受講態度(40%)
ＧＰＡ基準	
備考	